

## 第5学年 国語科学習指導案

日時 令和3年10月27日(水) 5校時

学校名 小金井市立緑小学校

対象 第5学年3組 37名

授業者 倉橋 雄大

1 単元名 「資料を用いた文章の効果を考えよう」

教材名 「固有種が教えてくれること」

2 単元目標

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知(2)イ)
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思C(1)ア)
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思C(1)ウ)
- ・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって筆者の取り組みようとしている。(態)

3 単元の評価規準

知識・技能	① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。
思考・判断・表現	① 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえて読んでいる。 ② 筆者の考えとその根拠となる事実を資料と結び付けて読んでいる。 ③ 文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。 ④ 筆者の考えを伝えるための論理展開の工夫を考えている。 ⑤ 筆者の情報意図に対して自分の考えをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	① 「固有種」について興味をもって読もうとしている。

4. 本時の内容（4／8時間）

(1) 目標

「日本に固有種が多いわけ」について、事実（資料）を根拠にして筆者の考えを捉えて読むことができる。

(2) 展開

過程	○学習活動 「発問」 ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
学習課題の理解	1. 前時を振り返り、本時の学習課題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         日本に固有種が多いわけについて、筆者はどんな事実からどんな考えを述べているのか。                     </div>	
学習方法の確認	2. グループで話し合うために、話し合いの視点を確認する。 ①事実は何か。 ②事実と資料2を結び付けて考えているか。 ③筆者の考えは何か。	◇自己学習の時の視点を話し合いの視点とする。
共同学習	3. 自己学習の結果をグループで話し合う。 ①②事実：【資料2：日本列島の成り立ち】 ・はるか昔、大陸と陸続きだった。→図1 ・南西諸島は、更新世前期に大陸から切り離されて島になった。→図2 ・本土にはニホンザルなど、主に更新世中期のものが生き残り、固有種になっている。→図3 ・北海道が大陸とはなれたのは、完新世とよばれるひかく的新しい時代だ。→図4 ③考え：日本に固有種が多いわけは、日本列島の成り立ちに関係がある。長い年月をかけて大陸から3つに切り離されたため、固有種が多い。イギリスは、さらに新しい時代に大陸から分かれたために、固有種がない。 4. 全体学習 資料の効果について話し合う。 ・本土はいつ切り離されたのか話し合っって情報不足を補う。(図3) ・地図と年表を関係付けることで、大陸が切り離された時期が、固有種となるきっかけの時期となることが分かりやすくなる。	◇学習課題に即して視点を明確にし、共同学習をする。 ◇タブレットを使ってお互いの考えを見ながら交流する。
評価・調整	5. 評価基準を確認し、自己評価する。 ・事実と考えをとらえて読むことができたか。 ・事実と考えを資料と結び付けて読むことができたか 6. 自己評価の結果に基づいて、学習シートを読み直し、自己調節する。 (◎・○・△で三段階評価をする。) 【調節の視点】 ① 事実と考えを捉える。 ② 事実と資料を結び付けて読む。 ①②がどちらも◎だった児童は、筆者の考えや論の進め方、図表などの効果について自分の考えをまとめる。	◆筆者の考えとその根拠となる事実を資料と結び付けて読んでいる。(発言、学習シート) 思-② ◆文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている (発言、学習シート) 思-③
まとめ	7. 学習のまとめ 「日本に固有種が多いわけは、日本列島の関係がある」ということが筆者の考えであるとわかりましたね。	

授業を見る視点【ICT】協働学習する際に、クロムブックを使うことは効果的だったか。

【教科】協働学習をすることは、考えを深めることにつながったか。

